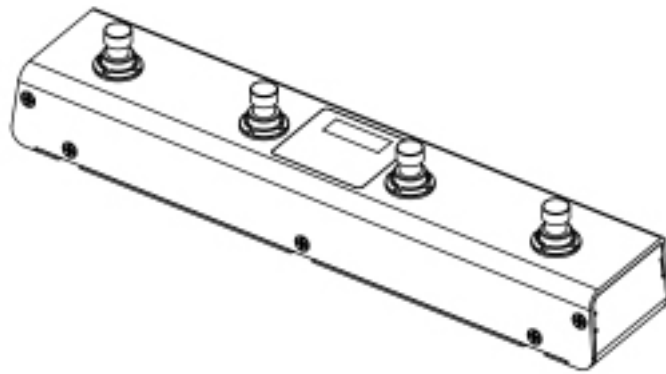




Bluetooth MIDI Controller

## APPLICATION USER MANUAL

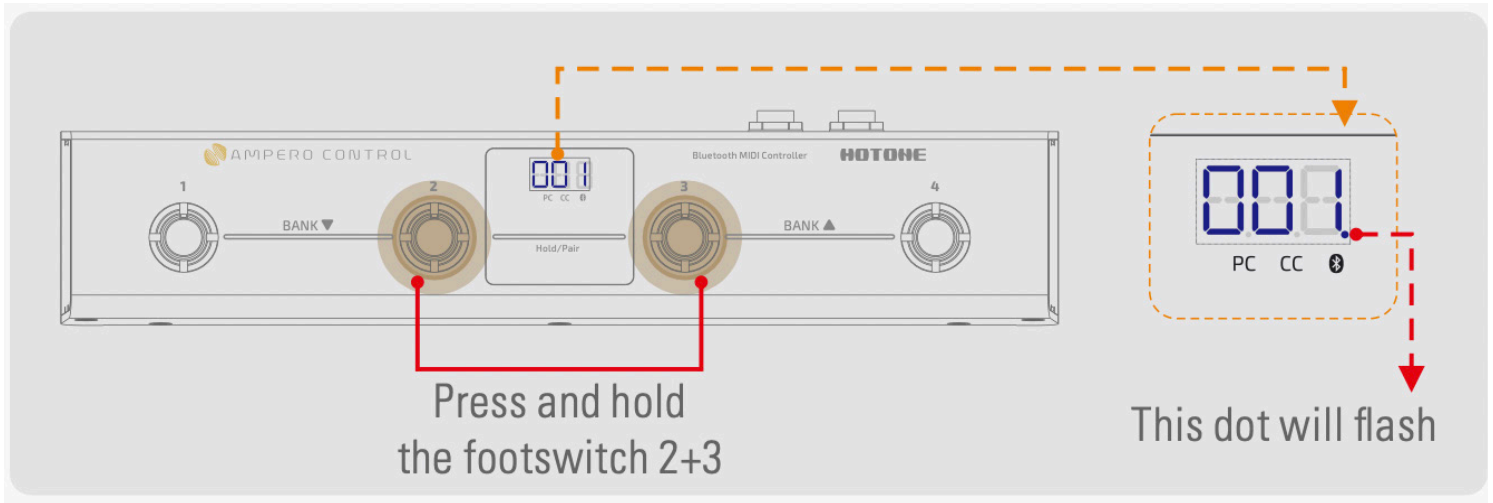
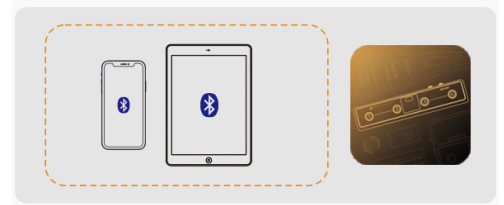
- **Firmware V1.13**
- **Software V1.0.1**



**HOTONE**  
DESIGN INSPIRATION

## ●接続

1. まず、接続するモバイルデバイスの Bluetooth スイッチを ON にします。次に本機の電源を入れてからアプリを起動します。
2. アカウントのログインをお勧めします。(オプション)
3. 図のように本機のフットスイッチ 2+3 を長押しして、Bluetooth ペア・モードにします。ディスプレイの右端にある LED がペアリングの状態を点滅で表示します。



4. アプリは自動的に近くにあるデバイスを検知し、スタートアップページにあなたの Ampero Control がリストされます。「Connect To The Selected Device / 選ばれたデバイスを接続する」を選んでタップします。接続が完了すると LED の点滅が止まり、点灯したままになります。



## \*ノート

1. サーチでデバイスが見つからない場合は、オフラインモードに入れます。
2. 本機は 1 台ずつしかエディットできません。他のデバイスを使いたい場合は、スクリーンの右下にある“Settings”アイコンをタップして、“Connection Status”中の“Disconnect”をタップします。これが終わったら他のデバイスを接続します。
3. デフォルト設定でのデバイス名は『Ampero Control』です。この名前は必要に応じて変更できます。
4. サーチが見つからなかったりタイムアウトした場合でも、“Search Again”ボタンをタップすればマニュアルサーチが可能です。または、モバイルデバイスの Bluetooth をリスタートします。

## ●定義 / Bank(バンク)

本機の Bank(バンク)には、以下のユーザーデータが含まれます。

- ・バンクネームと記述：スペースも含め最大 16 文字
- ・全 4 フットスイッチのモード
- ・MIDI メッセージ (メッセージ、チャンネル、バリュウ)
- ・CTRL 1/2 コントローラーアサイン&セッティング

\* 00-99 の 100 バンクがあります。

## ●フットスイッチのセットアップ

次の手順で行います。

1. バンクを選び、フットスイッチを選択します。  
下記の図は Bank 0 とフットスイッチ 1 が選択されています。
2. "Mode" ボタンをタップして、フットスイッチモードを選びます。



本機には 4 つのフットスイッチモードがあります。

### ● Single/ シングル

フットスイッチが押されると、同じ MIDI メッセージが送られます。メッセージはフットスイッチが離された時に発信されます。

### ● Toggle/ トグル

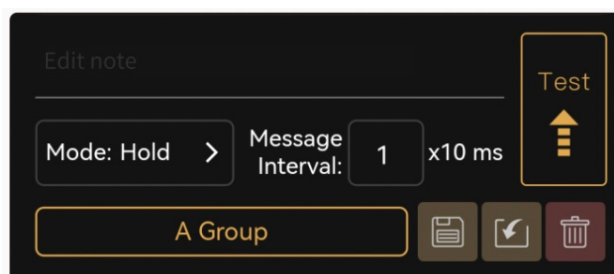
A/B 異なるグループのメッセージが送れます。フットスイッチを繰り返し押すと A/B グループの MIDI メッセージが交互に送れます。メッセージはフットスイッチが離された時に発信されます。

### ● Momentary/ モメンタリー

A/B 異なるグループのメッセージが送れます。フットスイッチを押すとグループ A の MIDI メッセージが送られ、フットスイッチを離すとグループ B のメッセージが送られます。

### ● Hold/ ホールド

フットスイッチを長押しすると、1 つの MIDI メッセージ (またはメッセージのグループ) が一定の間隔で繰り返し送信されます。フットスイッチを 1 回押すだけで、グループ内に 1 回 MIDI メッセージを送信できます。このフットスイッチモードでは、各 MIDI メッセージの送信間隔を 10ms ~ 2000ms (1 ~ 200) の範囲で 10ms ステップで設定できます。デフォルトは 10ms (1) です。



3. 16 個までの MIDI メッセージが画面下部の  ボタンで追加できます。

4. MIDI メッセージのエディットは、MIDI メッセージボタンをタップします。



• **CH/ チャンネル**

MIDI 出力チャンネルを 1-16 から選びます。Omni で全 16 チャンネルから出力されます。

• **Type/ タイプ**

MIDI メッセージのタイプを選択します。本機は Program Change (PC)、Control Change (CC)、Note On、Note Off の 4 つをサポートしています。

• **Data 1/2 / データ 1/2**

MIDI メッセージのタイプに従ってデータを決めます。


-Type=PC : プログラムチェンジ。Data 1 がプログラムナンバーの 1 つ、Data 2 のオプションはありません。

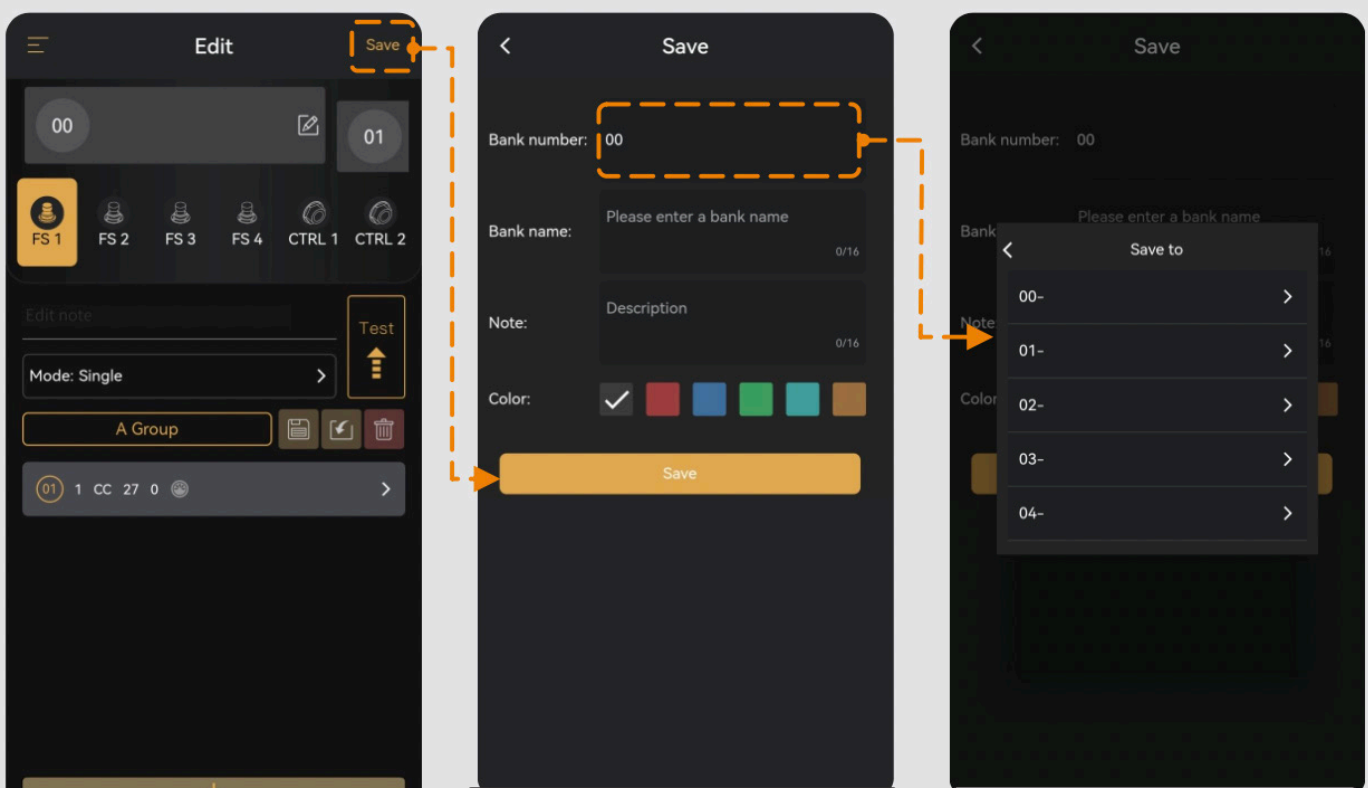
-Type=CC : コンティニューアス・コントロール。Data 1= コントローラーナンバー、Data 2= コントロールバリュー

-Type=Note On/Off : ノートオン / オフ。Data 1= ノートナンバー、Data 2= ノートベロシティ

• 出力はどのように MIDI メッセージを送るか、ユーザー設定が可能です。

• Bluetooth、USB ジャック、MIDI OUT ジャック、またはそれらのコンビネーションにより出力できます。

5. 必要なフットスイッチをすべて編集したら、画面の右上隅にある「Save/ 保存」ボタンをタップして変更を保存することを忘れないでください。必要に応じて “” をタップしてバンクを編集します。



「Save/ 保存」ボタンをタップします。  
Just tap “Save” button


保存箇所を選びます。  
Choose a position

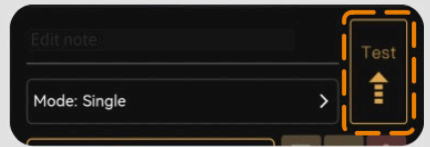


ドラッグ&ドロップで MIDI メッセージの順序を管理



MIDI メッセージを左にスライドして削除します。

MIDI 設定をテストするには、のボタンをタップして MIDI メッセージを送信します。



## ●外部コントローラーのセットアップ

次の手順で行います。


1. BANK(バンク)を選び、CTRL 1/2 を選択します。
2. 外部コントローラータイプをタイプボタンのタップで選びます。(図を参考)



3. 必要に応じて、外部フットスイッチ コントローラーの MIDI メッセージを設定します (上記を参照)。

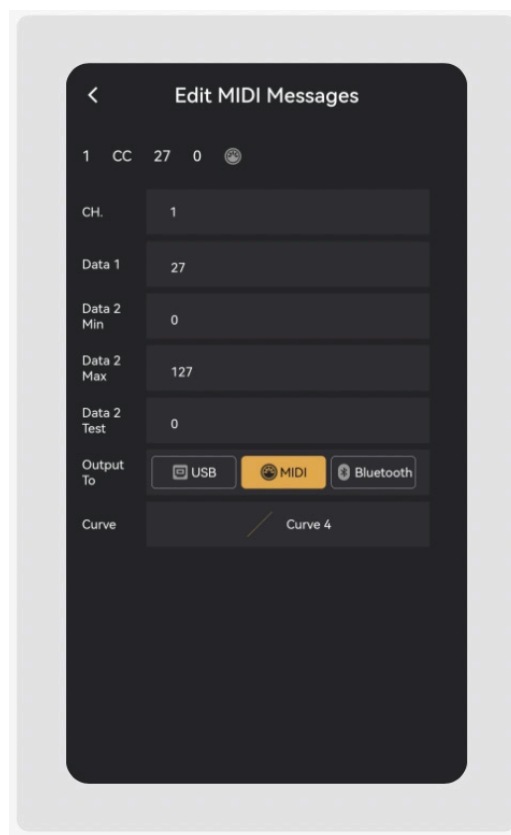
### エクスプレッションペダルの場合：

- ・エクスプレッションペダルは CC メッセージの割り当てのみをサポートします。  
1 つのエクスプレッションペダルに最大 4 つの CC メッセージの割り当てが可能です。

- ・ Data 2 Min は CC データ 2 の最小値 (ペダルのヒール側へ一番踏み込んだとき)、Max は CC データ 2 の最大値 (ペダルのトゥ側へ一番踏み込んだとき) を表します。ほとんどの場合、Data 2 Min=0、Data 2 Max=127 に設定します。Data 2 Test/ データ 2 テストに入力した値は設定をテストするためのもので、"  " ボタンをタップしたときに送信されます。MIN と MAX の範囲は 0 ~ 127 で、MIN 値は MAX 値よりも大きくすることもできます。

- ・ Curve はエクスプレッションペダルを一番踏み込んだときから最後まで踏み込んだときのカーブを 7 種類の中から選択できます。デフォルトは曲線 4 (リニア) です。

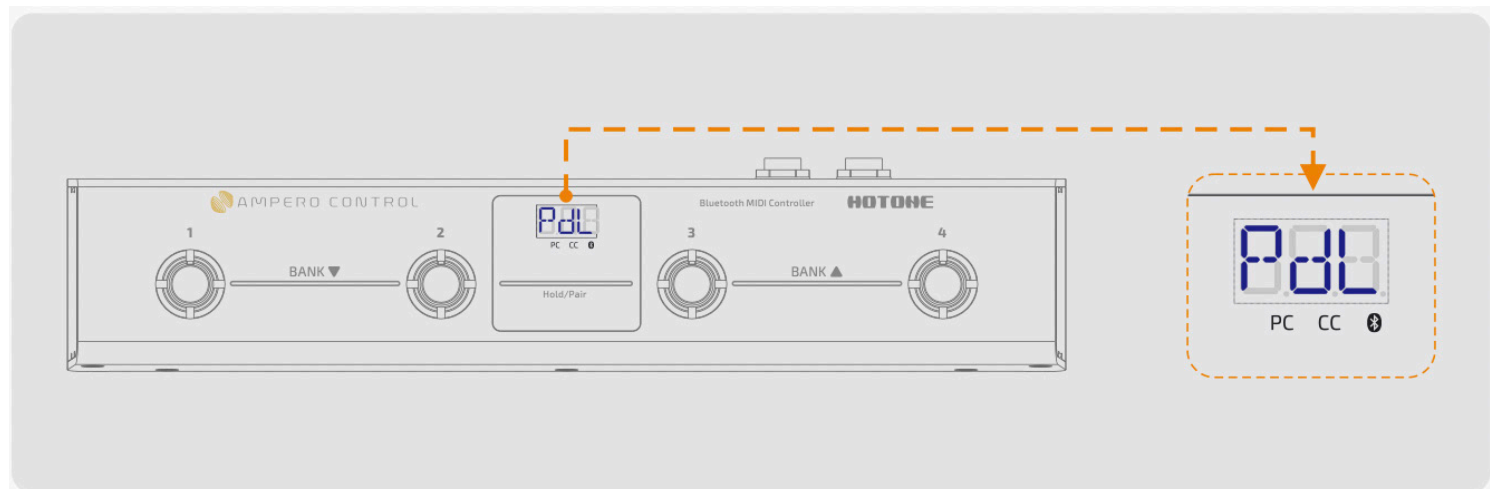
**注意：編集後は忘れずに保存してください。**



## ●エクスプレッションペダルの動作調整

次の手順で行います。

1. エクスプレッションペダルを本機の EXP/CTRL ジャックに接続します。
2. フットスイッチ 4 を長押ししながら電源投入します。“PdL” とスクリーンに表示され、本機が Expression Pedal Calibration Mode（エクスプレッションペダルの動作調整モード）に入ったことを表します。



3. ペダルをフルにヒールからトゥへ 3 回以上動かします。本機は使用するペダルと自動的にマッチします。
4. 3. が終了したら、再度フットスイッチ 4 を押して Expression Pedal Calibration Mode（エクスプレッションペダルの動作調整モード）から出ます。

## ●MIDI テンプレートを使う

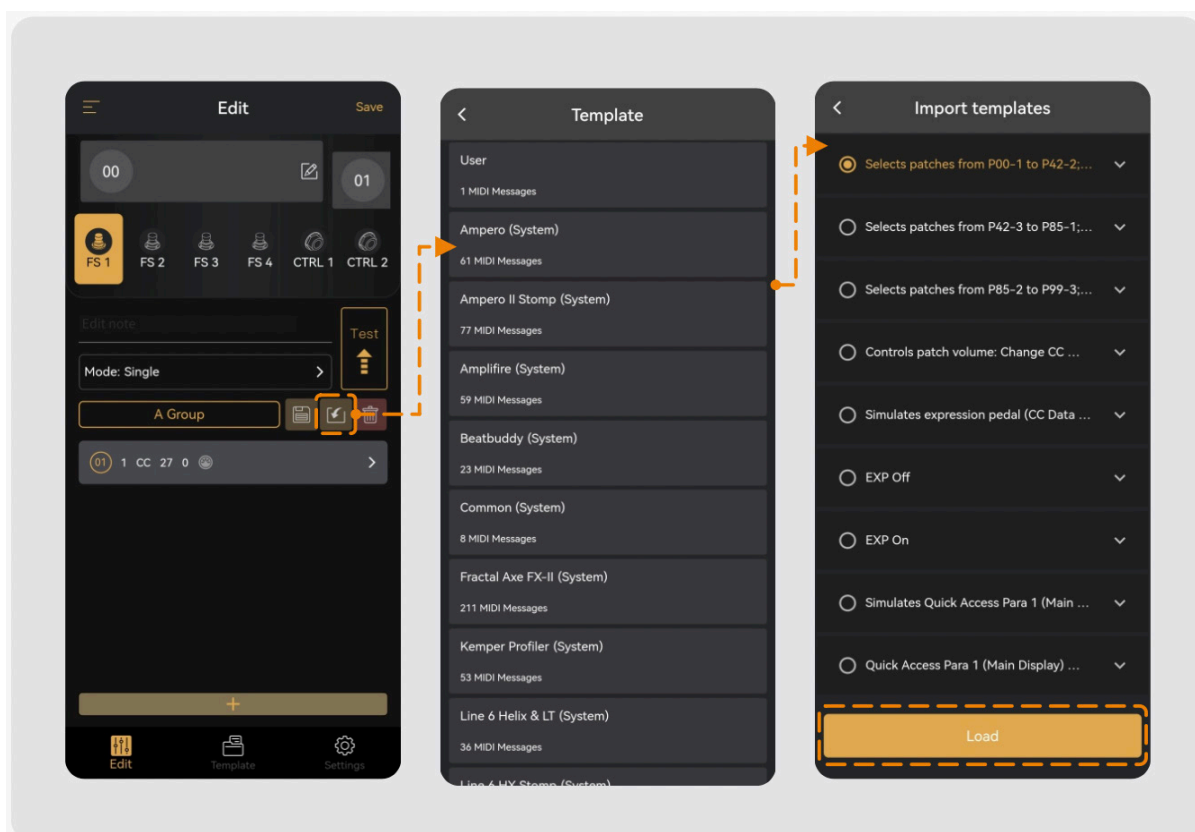
MIDI テンプレートは、人気機器で使い易いようにプリエディットされた MIDI メッセージです。それらからロードするか、お使いになるテンプレートをお作りください。

### •テンプレートをロードする

次の手順で設定します。

- 1.BANK(バンク)と footswitch(フットスイッチ)/external controller(外部コントロール) を選択します。

2.  ボタンをタップして Template(テンプレート)メニューを開きます。






## \*ノート

MIDI テンプレートのデフォルト MIDI チャンネルは「1」に設定されています。殆どの MIDI 機器のデフォルトチャンネル設定が、「1」または Omni に設定されているためです。接続したデバイスが MIDI メッセージを認識しない場合は、その MIDI 機器の受信チャンネルを確認してください。

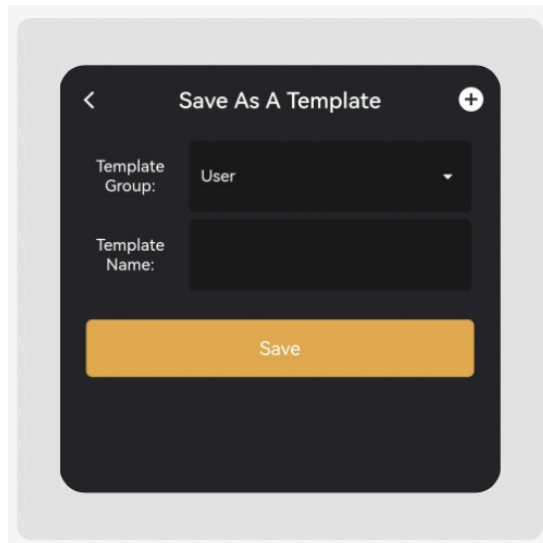
## ●テンプレートのセーブ（保存）

次の手順でセーブします。


1.MIDI メッセージを必要に応じてエディットします。

2.  ボタンをタップしてテンプレートをセーブします。図のようなメニューが表示されます。

3.“Template Group” を選び、テンプレートに名前をつけて “Save” ボタンをタップします。



## \*ノート


 ボタンでテンプレートグループが作れます。Template（テンプレート）メニューで、create/manage/delete が可能です。

## ●テンプレートメニュー

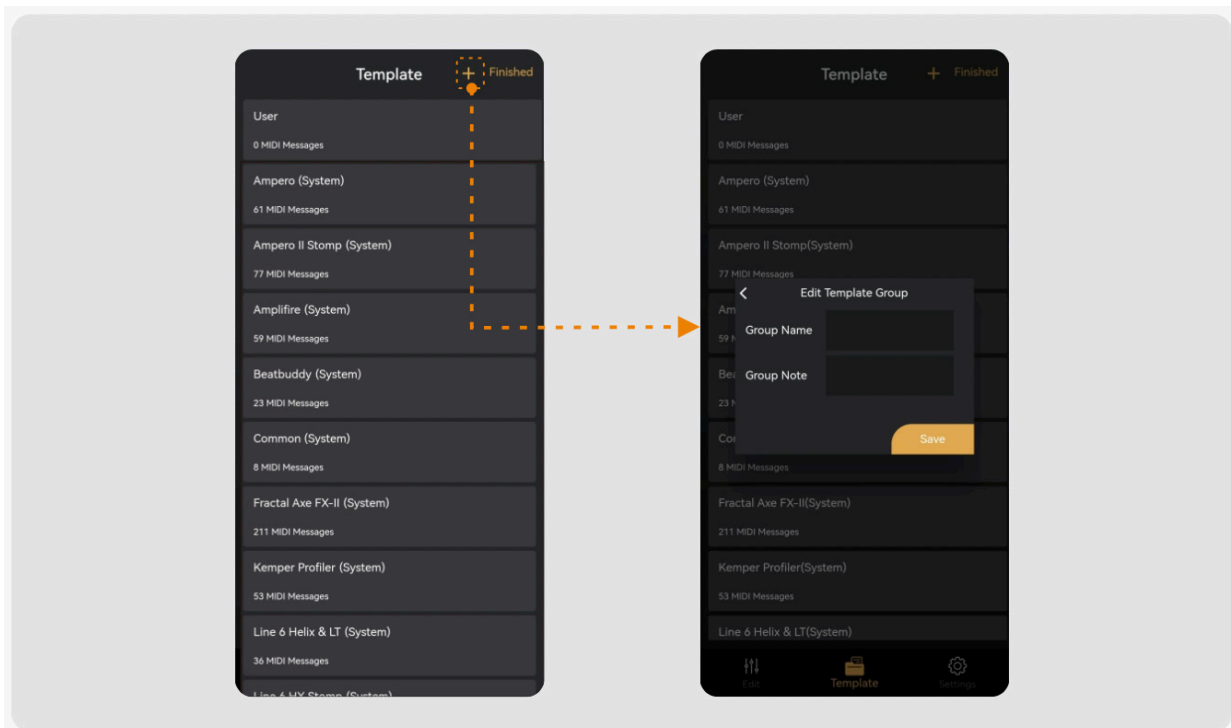
### ・テンプレートグループの作成

次の手順でテンプレートグループを作ります。:

1. スクリーンの手前センターにある Template タブをタップして、Template メニューに入ります。

2.  ボタンをタップして、新しいテンプレートグループを作ります。図のようなウィンドウが表示されます。

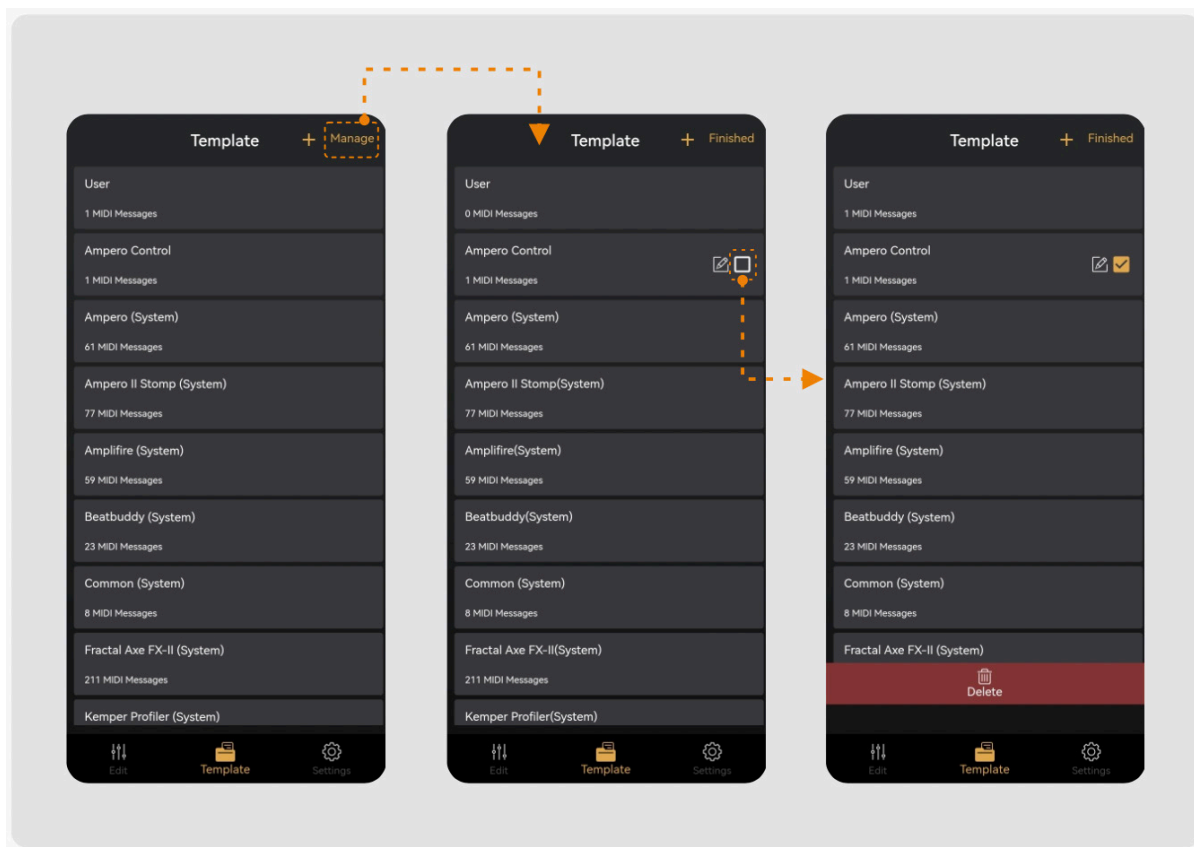
3.Name & Note を書き込み、新しいテンプレートグループをセーブします。







## • テンプレートグループの管理


次の手順でテンプレートグループを管理します。



1. スクリーン右上の **Manage** をタップします。

2.  をタップしてグループ情報をエディットします。

3.  をタップして削除したいグループのボックスを選びます。

終了したら、スクリーンの手前にある  をタップして削除します。


### \*ノート

・ System (システム) グループは削除できません。

・ テンプレートグループを削除すると、グループ内のすべてのメッセージも削除されます。

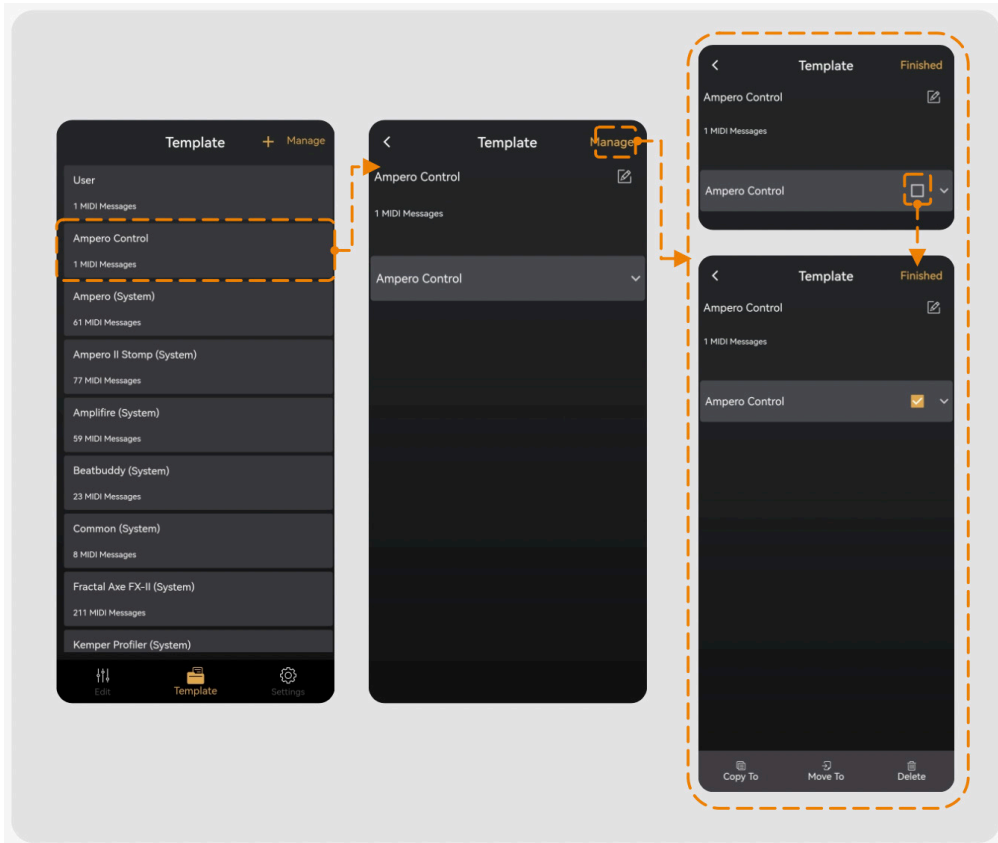
## ● A グループ内のテンプレートを管理する

次の手順でテンプレートグループを管理します。

1. タップするとグループ内のメッセージが確認できます。このメニュー内でメッセージをタップするとテンプレートの詳細が確認できます。\*下図を参照
2.  をタップして編集するグループ情報を確認します。\*下図を参照。
3. **Manage** を選択してメッセージの管理 (copy/paste、move、delete etc. ) を行います。\*下図を参照

### \*ノート

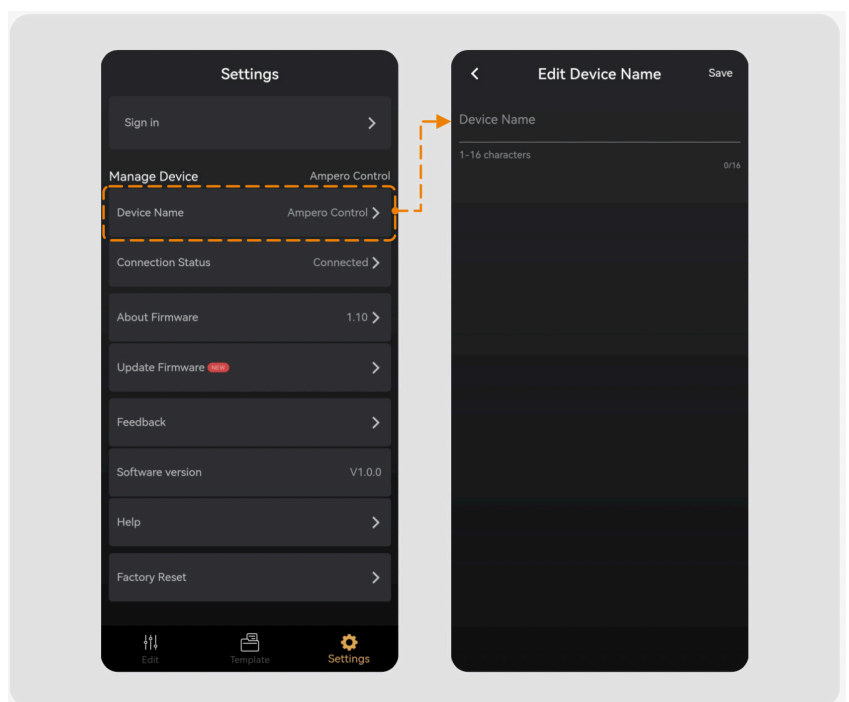
System メッセージは編集できません。



## ● AMPERO CONTROL EC-4 の名前を変更する

次の手順で本機の名前を変更します。:

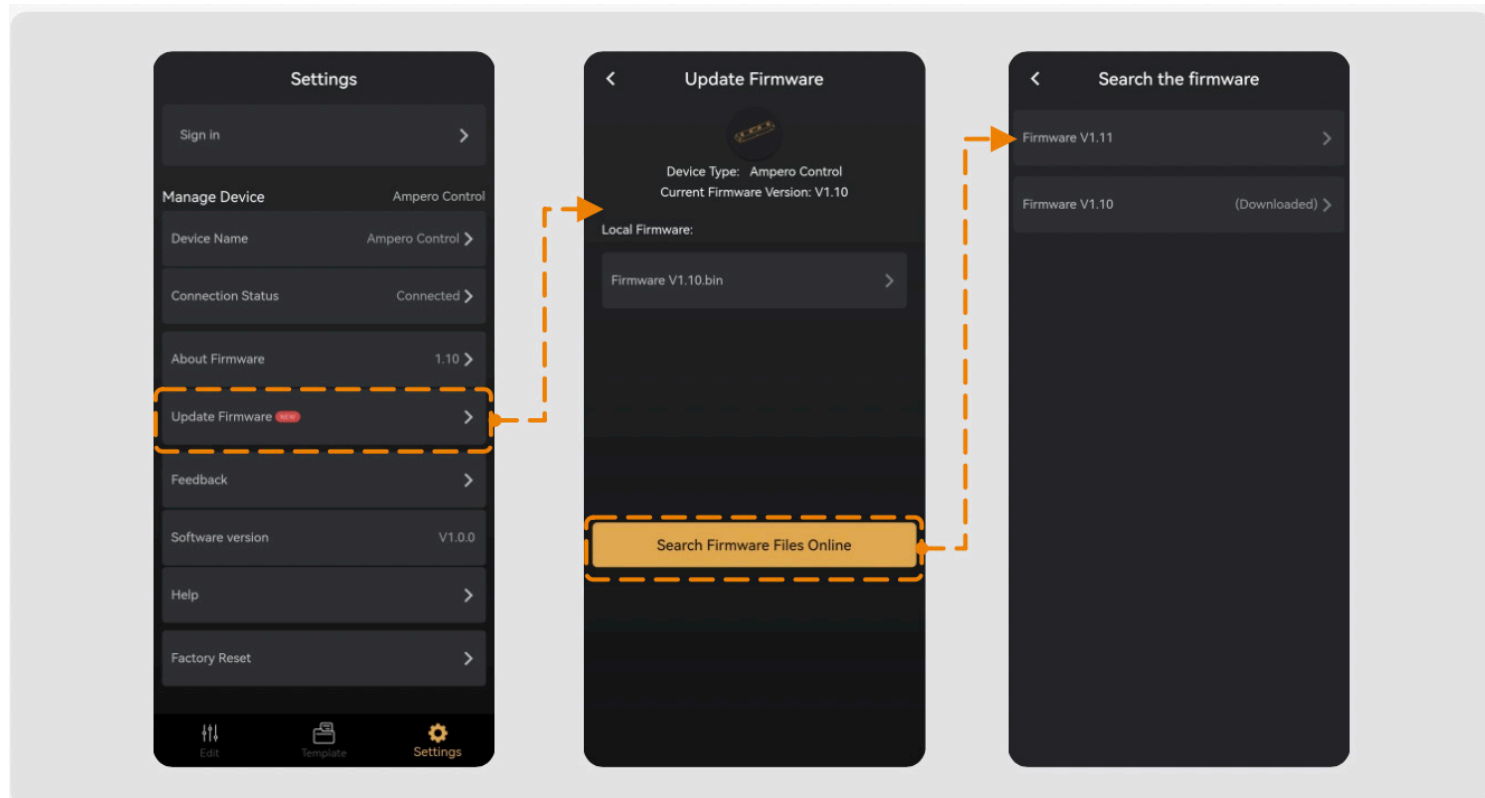
1. アプリを使用するモバイルデバイスと EC-4 (本機) をペアリングします。
2. 手前の右にある「Settings / セッティング」タブをタップして、セッティングメニューに入ります。
3. “Device Name” ボタンをタップして、名前を入力します。デフォルトは Ampero Control です。



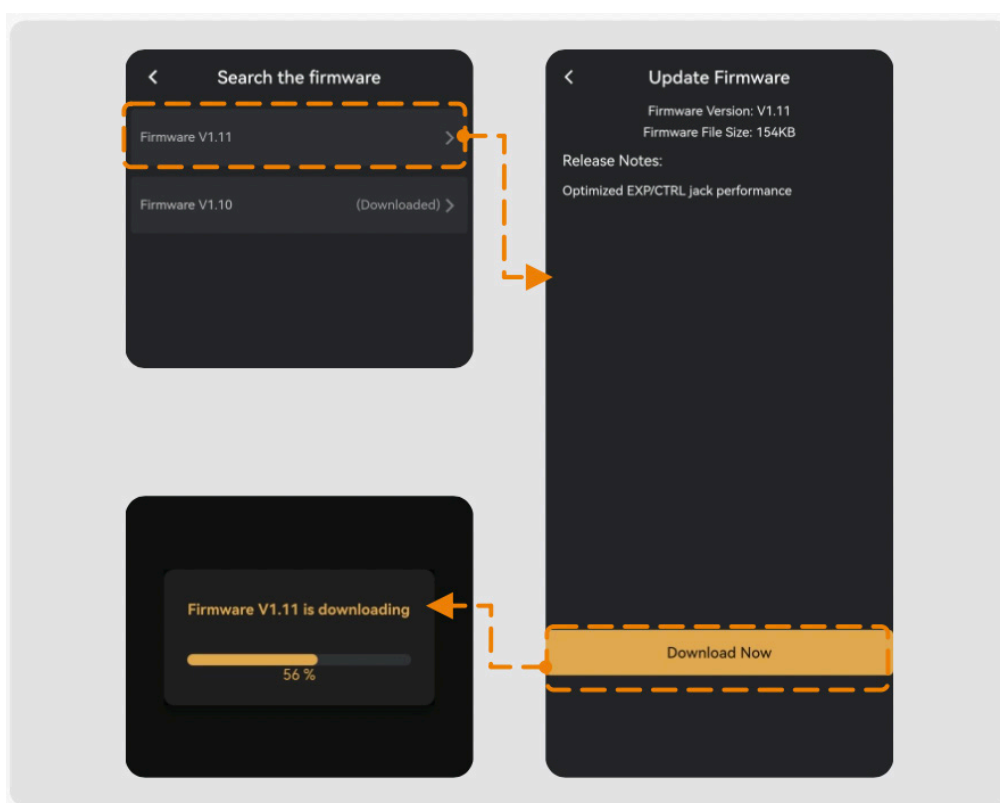
## ●ファームウェアのアップデート

次の手順でファームウェアのアップデートを行います。

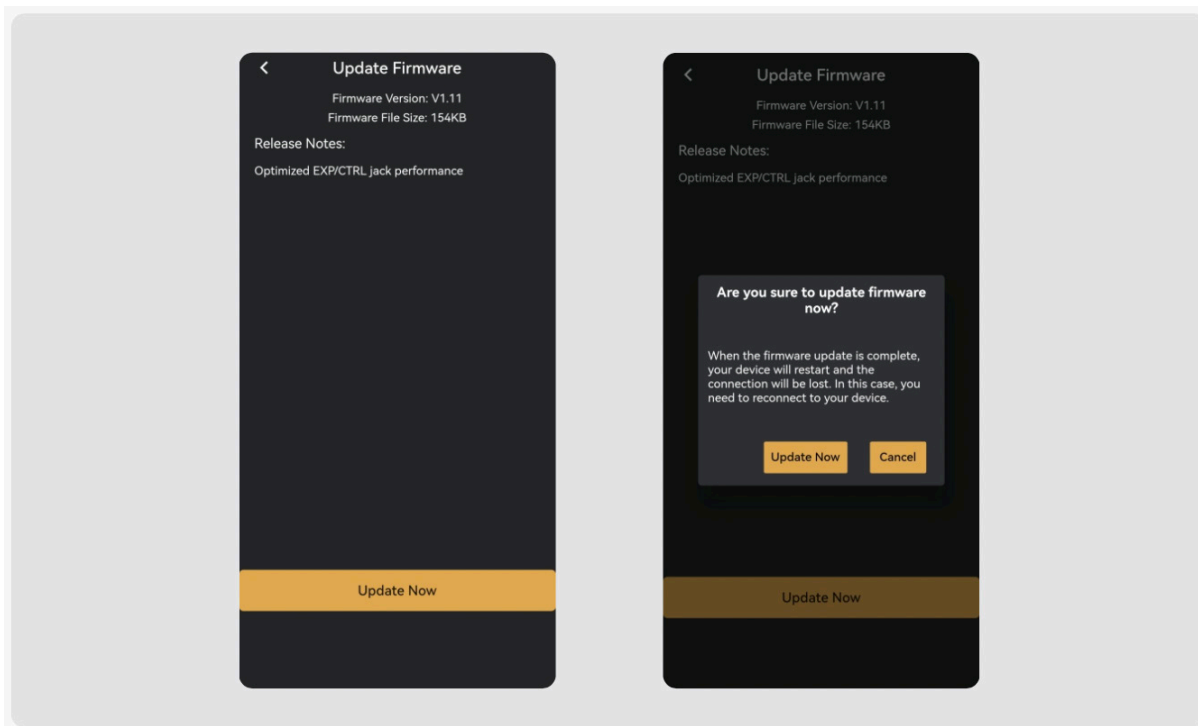
1. アプリを使用するモバイルデバイスと EC-4（本機）をペアリングします。
2. 手前の右にある「Settings / セッティング」タブをタップして、セッティングメニューに入ります。
3. “Update Firmware” をタップしてアップデートメニューに入ります。既にファームウェアのダウンロードが完了していれば、ファイルは図のように Local Firmware に表示されます。
4. “Search Firmware Files Online” をタップしてファームウェアファイルをオンラインでチェックします。オンライン・ファームウェアファイルは図のように表示されます。（“Downloaded” でファイルがダウンロードされます。）



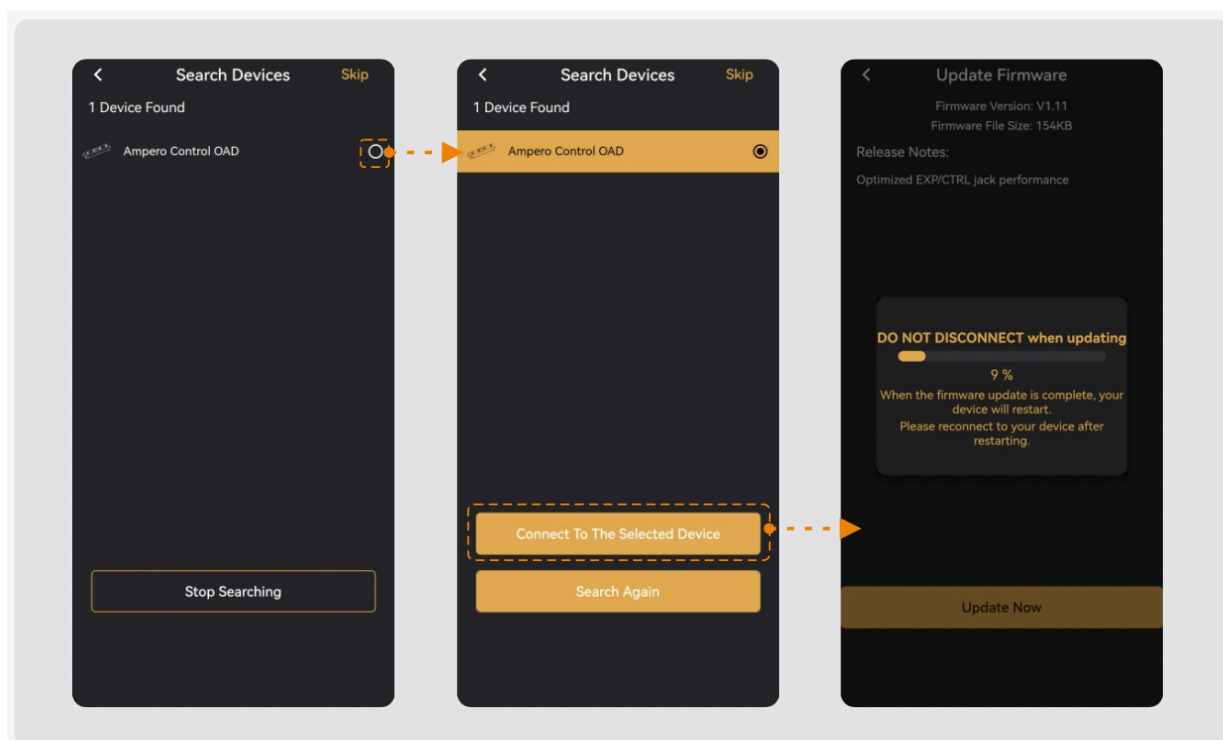
5. ファームウェアファイルをタップするとファームウェアが確認できます。“Download Now” でファイルがダウンロードされます。ダウンロードのステータスはバーで表示されます。



6.“Update Now” ボタンをタップしてファームウェアのアップデートを行います。2回の確認が必要です。ここで本機は、ファームウェアをアップデートするために OAD モードに入り、本機はリンクが一度切り離されます。



アプリは近くのデバイス（Ampero Control）のサーチを自動的に始めます。次に図のように“Ampero Control OAD”の名前のデバイスを見つけます。それを選択してこのデバイスと接続します。ファームウェアのアップデートは自動的に始まり、数秒後に完了します。



ファームウェアのアップデートが終わると、再接続のために Ampero Control のフットスイッチ 2+3 を押して再接続します。

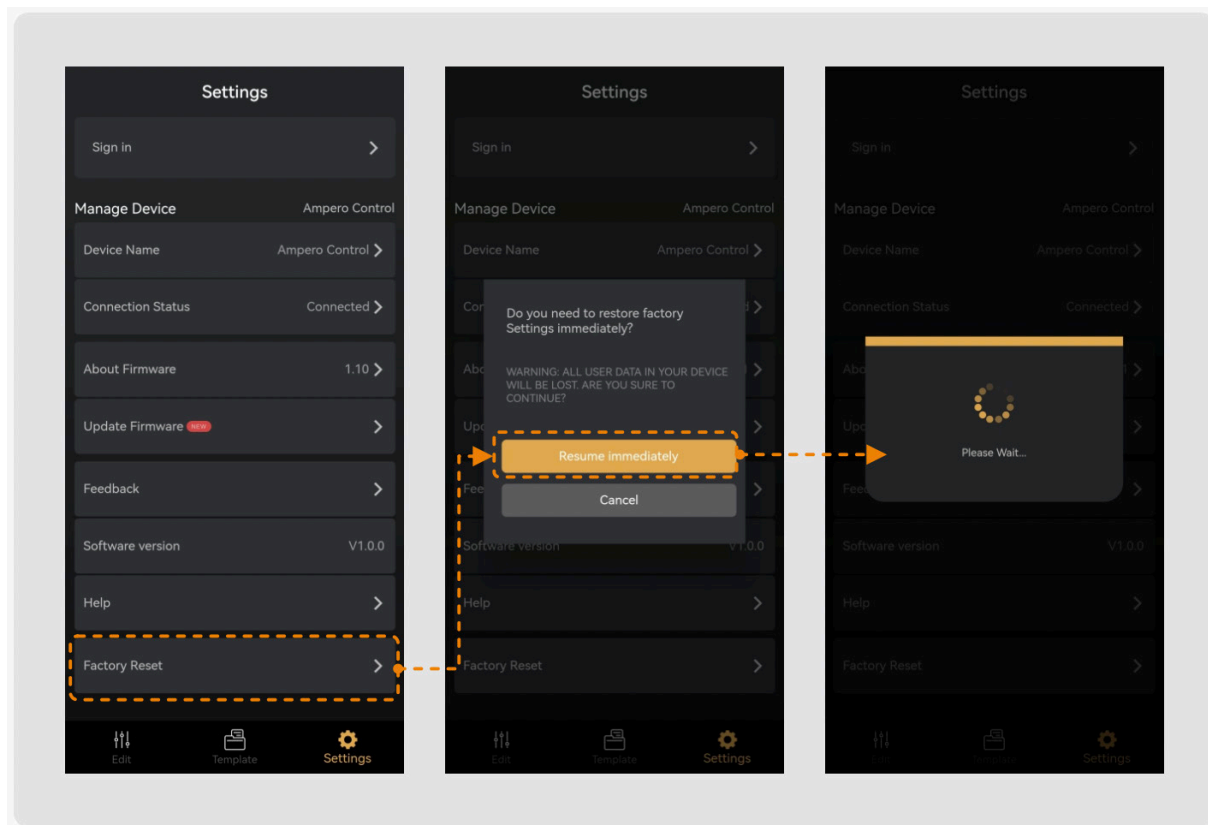
- \*ノート**
- ・アップデートには数秒かかります。デバイス（Ampero Control）の再起動&再接続が必要な場合があります。
  - ・アップデート中に、Bluetooth スイッチを切ったり、電源ジャックから電源を抜いたりしないでください。アップデートの失敗が故障の原因になる場合があります。
  - ・アップデートの実行中は通信障害が起きないように、モバイルデバイスと本機（Ampero Control）を 1m 以内に保ちましょう。

## ●ファクトリーリセット

以下の手順でリセットを行います。:

1. モバイルデバイスと Ampero Control をペアリングします。
2. 手前の右にある “Settings” をタップして、セッティングメニューに入ります。
3. “Factory Reset” をタップするとファクトリーリセットが実行されます。リセットは数秒で完了します。

**\*ノート**：ユーザーデータも消去されます。



この度は、HOTONE 製品をご購入頂き、誠に有り難うございます。

本機の性能を十分発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、必ずご使用前にこの取扱説明書をお読み下さい。  
お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用になる前に、本機の性能をトラブルなく十分に発揮できる様、以下の説明を必ずお読み下さい。

■警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

・異常があるときは、電源プラグまたは電源アダプターをコンセント

から抜いて、ご購入先までご連絡ください。特に、異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセント から抜いてください。

・電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないでください。ご自身での調整や修理は危険です。まず、ご購入先までご依頼ください。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けてください。

■警告：次のような場所での使用は避けてください。

・湿度の非常に高い場所

・砂やほこりが多い場所

・台所、バスルーム、湿気の高い地下室など、水のかかりやすい場所・空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■電源ソース

付属の専用電源アダプターを使用してください。100V 電源が正常に出力されているコンセントに接続して使用してください。また、長期に渡り本機を使用しない場合は、本機の電源コードをコンセントから抜いて保管してください。

■取り扱いについて

1. 乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないでください。

2. 記載外の使用方法で本機を使用されますと製品不良が発生する場合があります。必ず取扱説明書に基づいた使用方法でお楽しみください。

■修理が必要な場合

ご購入先もしくは、弊社へご依頼ください。

・Web: <https://allaccess.co.jp>

・E-mail: [support\\_rs@allaccess.co.jp](mailto:support_rs@allaccess.co.jp)

■品質保証に関して

本機は、HOTONE 日本総代理店 オールアクセスインターナショナル株式会社が、ご購入後 1 年以内の品質保証を行っております。ただし、以下に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象にはなりません。

1. 修理の際は、購入者や購入日が証明できる明細（購入者が確認できる日付入りの購入明細、領収書等）をご提示いただけない場合。（ご購入後は、販売レシート等を大切に保管してください。）

2. 非正規販売店や海外から購入された製品。中古品または譲渡された製品。 3. 取扱説明書に記載されていない使用方法や使用条件による破損や修理。

注 1: 最初の購入者に限り、（保証期間内に限り）無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

注 2: 本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、「内容を理解することを目的とする使用方法のみ」を許諾しております。

注 3: オールアクセスインターナショナル株式会社は、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、弊社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。